

# 第〇学年〇組 技術・家庭科学習指導案

令和3年〇月〇日 〇曜日 第〇時

指導者 〇 〇 〇 〇

## 1 題 材 住まいの役割と安全な住まい方

### 2 題材の目標

- (1) 家族の生活と住空間の関わりと住居の機能，家族の安全を考えた住まい方について基礎的・基本的な知識と技能を身に付けることができる。
- (2) 安全で快適な室内環境の整え方と住まい方について課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けることができる。
- (3) よりよい住生活の実現に向けて，住居の機能と安全な住まい方について課題の解決に主体的に取り組む，改善し，工夫し実践しようとする。

### 3 学習の計画 (6時間完了)

- |     |         |                           |
|-----|---------|---------------------------|
| 第1次 | 第1時     | 住まいの役割を考え，学習課題をつかむ。       |
|     | 第2時     | 住まいと気候風土との関わりについて考える。     |
| 第2次 | 第3時     | 健康で快適な室内環境について考える。        |
|     | 第4時     | 住まいの安全について考える。            |
|     | 第5時(本時) | 災害に備えた住まい方について知る。         |
| 第3次 | 第6時     | 持続可能な住生活を目指して，自分の考えをまとめる。 |

### 4 本時の学習指導

- (1) 目 標
  - 家族が安全に住むために，自分の住まいを点検し，災害に備えた対策を工夫することができる。
  - 災害対策と安全な住まい方について，問題を見だし，課題を設定し，課題を解決しようとする。
- (2) 準備・資料
  - 生徒……住まいのチェックカード(前時の課題)
  - 教師……ワークシート，震災対策実践計画書，大震災の様子の写真・映像，非常持ち出し袋，地震防災DVD，視聴覚機器
- (3) 関 連
 

2年 技・家 生活を豊かにするために(防災に役立つ布製品を製作する)
- (4) 学習過程

段階	学 習 活 動	時間	指 導 上 の 留 意 事 項
つかむ	1 近年起こった大震災について，感じたことを話し合う。 ○ 東日本大震災 ○ 阪神淡路大震災 など 2 本時の学習課題をつかむ。 住まいの災害対策を工夫しよう。	10	○ 大震災の写真や映像を紹介し，震災対策の必要性を実感させる。 ○ 震災時の様子について，感じたことを自由に発表させることにより，地震の恐ろしさを確認させる。
確かめる	3 震災対策について考える。 (1) 家庭での取組を発表する。 ・ 非常持ち出し袋の準備 ・ ガラス飛散防止フィルムの使用 ・ 家具の転倒防止 ・ 避難場所の確認 (2) 地震防災DVDを視聴し，災害時の被害を少なくするための対策について		○ 事前に調査したことを基に，各家庭での震災対策を発表させる。 ○ 住まいとしての対策だけでなく，食料や燃料などの物的対策や津波災害時の避難場所の確認などについても発表させ，防災意識を高めさせる。 ○ 愛知県防災局の地震防災DVDを活用して，震災対策の方法について確認する。

確 か め る	話し合う。 ・寝室の安全確保 ・家具や家電製品の固定 ・出入り口の確保 など	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前時の家庭内事故の学習を踏まえ、落下物への対策や、ガラスの飛散防止などにも気付かせる。</li> <li>○二次災害としての火災対策についても考えさせる。</li> </ul> <p>評災害時の被害を少なくするための対策を考えて書き、発表している。 (発表, ワークシート)</p>
深 め る	<p>4 家庭の震災対策について、家庭実践の計画を立てる。</p> <p>(1) 「住まいのチェックカード」を基に、自分の住まいを点検する。</p> <p>(2) 自分の家庭での震災対策の実践計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の部屋の本棚を整理する。</li> <li>・寝ている場所ときに物が落ちてこないよう、家具の配置を変える。</li> <li>・ベッドの下に非常持ち出し袋を置く。</li> </ul>	45	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の家庭の様子を振り返り、どんな場所にどんな危険が想定されるかを具体的に点検させる。</li> <li>○「自分でできること」「家族の協力が必要なこと」に分けて、それぞれどんな対策が可能かを考えてワークシートにまとめさせる。</li> <li>○視聴したDVDや話し合いの内容を参考にして、具体的な実践計画を立てさせる。</li> <li>○実践計画を立てる際には、生徒のプライバシーに十分配慮する。</li> </ul> <p>評自分の家庭の住まい方を点検し、安全対策を考えている。 (実践計画書)</p>
ま と め る	<p>5 本時の学習のまとめをする。</p> <p>(1) 震災対策についてまとめる。</p> <p>(2) 学習を振り返り、自分の生活に生かせることを考える。</p>	50	<ul style="list-style-type: none"> <li>○防災意識を高めさせ、家庭実践への意欲を喚起する。</li> </ul>

(5) 本時の評価規準

- 家族が安全に住むために、自分の住まいを点検し、災害に備えた対策を工夫している。  
(発表, ワークシート)
- 災害対策安全な住まい方について、問題を見だし、課題を設定し、課題を解決しようとしている。  
(実践計画書)

## 5 備 考

(1) 学級の実態

- 東日本大震災後、この地域の東海地震や東南海地震、南海地震への対策が進められる中で、生徒たちの地震防災への意識も高まってきている。各家庭でも、避難所の確認や非常持ち出し袋の準備、家具の転倒防止、家屋の耐震補強等を進めている家庭もある。しかし、それらは親が行っている対策であり、生徒自身が主体性をもって取り組んでいるとは言えない状況である。

(2) 指導の力点

- 東日本大震災の写真や映像を見せることで、大震災を身近に感じさせ、地震防災の必要性を実感させる。
- 事前に各家庭での震災対策について調べさせ、それを発表させることで、家庭での震災対策の実践に向けての意識付けにしたい。さらに、計画したことを家庭実践させることで、家族の防災意識の高揚を図りたい。
- 愛知県防災局の地震防災DVDを活用し、そこから得た情報を、各家庭における取組への参考にさせ、具体的な実践計画書を完成させたい。

## 6 指導と評価